

万之瀬川に生息する主な魚などハャ アュ ウナギ ウナギ テナガエビ (ダンマ) ギンブナ ハゼ ドジョウ

(写真提供・協力:県水産技術開発センター、道の駅 川辺やすらぎの郷、Happy Fish)

川の楽しみ・豊かな食材

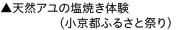
イベントや祭りをとおして、川に接する機会の少ない子どもたちなどが、川や生き物の面白さなど体験できます。





▲ウナギとアユのつかみ取り(道の駅 川辺やすらぎの郷)







▲マス釣り(かわなべ磨崖仏まつり)

アユは塩焼きが一番、モクズガニは塩ゆでや味噌煮 込みで、テナガエビはかき揚げやそのまま焼いて食 べると大変美味しいです。



川で遊ぶときは注意しましょう!

1.川に行く前に

- ①必ず家の人に、川に行くことを伝えよう。
- ②1人で行かない、子どもだけで行かない。
- ③必ず天気や川の情報をチェックしよう。
- ④ ライフジャケットなど、活動に合ったものを準備 しよう。

2.川に着いたら

- ①まず周りをよく見て、川に関する看板があれば確認しよう。
- ②もしもに備えて、安全に避難する方法を確認 しよう。
- ③上流の状況も考えよう。

3. すぐに避難

- ①増水の前兆や、警報が鳴ったら直ちに避難しよう。
- ②パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

4. もしおぼれている人を見かけたら

- ①大声で助けを呼ぼう。(すぐに119番、110番に連絡しよう)
- ②陸から長い棒などをさしのべたり、何か浮かぶ物 (ペットボトルなど)を投げ渡そう。



▲外来種の駆除活動。(捕 獲されたブルーギルな ど)



▲石倉は、ウナギや小魚な どのすみか作りのため設 置されます。



住みやすいよう、また、産 卵しやすいようにします。



環境保全に努めてい

▲川床を洗浄し、生き物が



テナガエビ、 ウナギなどを放流しています。







発揮対策を

飛事業を取りて らは水産多面な

ただき河 所や一

0)

境

整

川の

、や一般のは、

方各種

の団

協体

力を事

して

(V

、ます。

川辺

面漁

漁同

協組

合

0) 協

行

つ

7

 $\langle \cdot \rangle$

ま

す。 環

行っています。



を行っています

動

および伝統文化、

会では魚などの

生き物

が

生息

L

B す

ラ

床の洗浄やすみ

テナガエビ、

が、魚道の管理のほか、可一下で、魚道の管理のほか、可一下で、カコビ、ウナギなどの放流、フロビー・

万之瀬!

Ш

振興会では、

順川 0)

う資源確保、

整備、

食文化の啓発活動

0)

資源を守るた

とおして万之瀬



▲河川流域の清掃や桜の植樹などの環境美化活動。

アユやモクズガニなどが万之瀬川を遡上できるよう魚道 を整備しました。これらの魚道の完成により万之瀬川は 河口から岩屋公園まで遡上したり、下ることができるよう になりました。

魚道とは-ダムや滝などの障害物によって、魚などの往 来が妨げられる場合に設ける通路。

万之瀬川 あゆ漁解禁 7月21日 (10 月末まで)



夏休み期間中、釣りのみ無料。 その他の期間は遊漁券(有料) が必要です。

◎遊漁券販売所

万之瀬川 (川辺地域) で、魚を釣っ たり、網を使う場合は、漁協が発行 する遊漁券(有料)が必要です。詳 しくは、下記の販売所へお問い合わ せください。

【販売所】

- 南九州市役所(川辺支所) 農林水産課 耕地林務係
 - **2** 0993-56-1111
- 福元養鯉場
- **2** 0993-56-1263
- フィッシング轟 ☎ 0993-56-0557

生き物が生息しています。 良くなってきており、(、年々、万之瀬川のこのような活動のか 7 わ おりし b, たちち 生 浄 のか 活用生 化 多く 環境 ľλ あ



川辺広瀬川 漁業協同組合 組合長 小薗義文

あ

り

ま

す

が、

ひとり

のな川を守か汚さない

を守っていただき

いよう心がけ、

平 **入** 的 機成備 莋 れ 用水活 Ò ú 能 25 な 7

. 大切な!! たいです。 ます。 する多くの魚類の いきたい はじめ、 観光資源の創出につ 水産資源の確保はもとよ 親しんでいただけるよ には多くの れからも万之瀬川に 多くの方が関心を持 と思います 環 境美化を図 魅 力が 保護、 あ 増 生

▲こせ渓谷